



壱岐市 洪水ハザードマップ

洪水時の逃げ時判定

浸水のおそれのある区域	10m以上の浸水	家屋倒壊のおそれ	●早めに避難場所などの安全な場所へ避難	家屋倒壊等氾濫想定	家屋が倒壊するような氾濫流や河岸侵食のおそれがあるため、 早めに避難場所などの安全な場所へ避難
	5~10mまでの浸水	家屋が水没するおそれ			
	3~5mまでの浸水	床上浸水のおそれ	●早めに避難場所などの安全な場所へ避難 ●すでに周辺が危険な場合は、2階以上のより高い場所へ避難		
	0.5m未満の浸水	床下浸水のおそれ	●浸水しない安全な場所 ●自宅2階など、高い所へ避難		
	浸水想定区域外	浸水が広がる可能性	●積極的に情報収集 ●危険を感じたら、高い所へ避難		

避難に関する情報

警戒レベル 市町村の情報	みなさんがとるべき行動	避難行動をとる際の判断に参考となる情報	
		(警戒レベル相当情報)	キキクル (危険度分布)
警戒レベル5 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	氾濫発生情報 大雨特別警報	災害切迫
警戒レベル4 避難指示	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報	危険
警戒レベル3 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報	警戒

内水氾濫と外水氾濫

洪水には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなることにより起こる「内水氾濫」と川の堤防が壊れたり、堤防から水が漏れたりして発生する「外水氾濫」があります。

内水氾濫



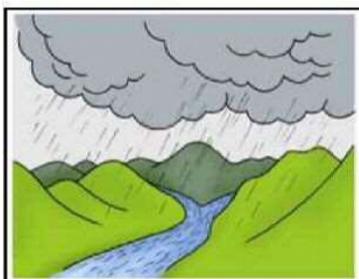
外水氾濫



短時間に集中して降る豪雨等により、水路や下水道の排水機能を超える大雨が降ったり、川の水位上昇により十分に排水できなくなると、マンホールや側溝から雨水が漏れ、住宅地や道路など冠水します。

長時間雨が降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れてしまい浸水します。また、その付近で雨が降っていなくても、上流で降っていれば、河川が増水し、同様に浸水する危険性があります。

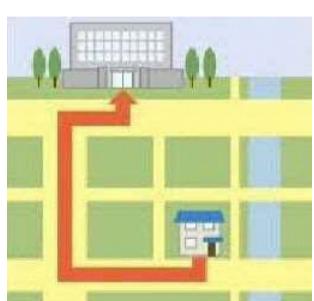
このような前兆を確認したら避難しましょう



- 川の近くでは、まわりの空が真っ黒になったらすぐに避難する。
- 雷鳴や稲妻を確認したら建物内へ避難する。
- 冷たい風が吹き出したら注意する。
- 大粒の雨やひょうが降り出したら建物内へ避難する。
- 雨の日に周囲より低い位置にいる場合は、高い場所へ移動する。
- 川の近くで警告のサイレン音がしたらすぐに川から離れる。

安全に避難するために

■事前に準備を
普段から避難場所までの安全な経路などを確認しておきましょう。



■持ち物は最小限に
荷物は背負い、両手が使えるようにしましょう



■状況により早めの避難を
避難情報が発表されていない場合でも、状況などから判断し自主品牌的に避難しましょう。



■車は使わない
他の避難者や緊急車両のさまでけになり、数十センチの浸水で車が浮いてしまい自分も危険です。



■隣近所で声をかけ合って
避難は2人以上でしましょう。隣近所を誘って集合で避難しましょう。



■マンホールや側溝に注意を
激しい大雨が下水管に流れ込み管内の圧力が上昇して、マンホールのふたが開いてしまう場合があります。浸水が進むなか、マンホールや側溝にはまってしまうと大変危険です。



■避難所では気象状況に注意を
避難所では相互に協力を。被害の状況や今後の気象状況を確認します。



■深さに注意
歩行可能な水深は約50センチ以下。水の流れが速い場合は20センチ程度でも危険となります。



被災後の安全確認

防災

チェックポイント

- 断線した電線が垂れていたら、絶対に触らず電力会社に電話する。
- 落下や倒壊しそうな危険物には、近寄らず専門業者等に連絡する。
- 浸水の被害に遭ったら消毒を怠りに。
- 水害を受けたら衛生面に注意する。水道水は煮沸し、手の消毒を忘れないなどの注意が必要。



避難に関する3つの情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。3種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

1 高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況



2 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況



3 緊急安全確保

避難中の住民は直ちに避難を完了してください。



- 避難するのに時間がかかる高齢者などの避難行動を支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。
- 万一避難する余裕がない場合は、命を守る最低限の行動を取ります。

避難行動要支援者とは

避難行動要支援者とは、災害発生時に自ら避難することが困難で、避難するためには支援が必要な人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

- おぼって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



肢体の不自由な方（車椅子）

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1名の場合、ひもなどを用意し、おぼって避難する。



目の不自由な方

- 声をかけ青眼帯を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手に触れて、ひじのあたりを軽く持てもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようになる。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



防災

チェックポイント

使いこなそう 気象庁のホームページ

気象庁のホームページでは、さまざまあな気象予報が掲載されています。「降水ナウキャスト」情報は、1時間先までの各10分間雨量の分布を予想しています。積極的に活用しましょう。

[「レーダー・ナウキャスト\(降水・雷・竜巻\)」](http://www.jma.go.jp/jp/radnowc)

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc>

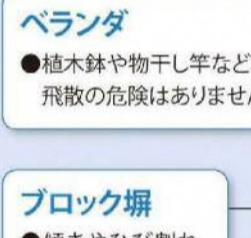
名 称	電 話 番 号	緊 急	所 在 地
壱岐市役所総務部危機管理課	48-1111		壱岐市郷ノ浦町本村触 562
壱岐市消防本部・消防署	45-3037	119	壱岐市芦辺町中野郷西触 411-2
壱岐警察署	47-0110	110	壱岐市郷ノ浦町本村触 551-1
壱岐海上保安署	47-0508	118	壱岐市郷ノ浦町本村触 648-5
壱岐振興局総務部	47-1111		壱岐市郷ノ浦町本村触 570
壱岐振興局保健部（壱岐保健所）	47-0260		壱岐市郷ノ浦町本村触 620-5
長崎県庁危機管理部	095-842-1111		長崎市尾上町 3-1
九州電力送配電(株)壱岐営業所	0120-986-202		壱岐市芦辺町諸吉大石触 427-4

家屋の被害を抑える

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・補修・補強を行い、十分な水害対策を講じておきましょう。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はありませんか



ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか



ブロック塀

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか



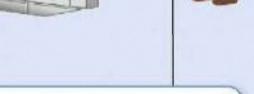
排水溝

- 側溝や雨水溝にゴミや土砂はありませんか



窓

- 窓枠のがたつきはありませんか



その他

- ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか
- 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
- ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
- 庭木には添え木をしていますか
- 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

屋根・雨どい

- 不安定なアンテナはありませんか
- トタンがめくれていませんか
- 瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
- 雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか



家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（ない場合は水のう）を設置することで、水が建物に侵入することを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用ポリタン